

<様式>

学校名	山形市立第六中学校 山形市南原町二丁目3番55号 TEL 622-0314 FAX 633-9803	校長	朝倉 和彦
		研究主任	花輪 靖子
研究主題	個の思考を活性化する学びある授業の創造（一年次）		
研究主題設定の理由	<p>①今日的課題より 前研究では、研究主題「確かな学力と豊かな心を持つ生徒の育成～個に生きる学び合いの学習を通して～」のもと研究を進めてきた。「課題」と「学び合い」の二つの視点からこの研究主題に迫る授業作りに取り組んだ。その成果として生徒と教師が共に課題を意識できたことや様々な形式で学び合いの場を設定できたということが挙げられた。一方で、課題として指導者の「個」への意識が低いことや課題の工夫が生徒の学びにつながっていないといったことが挙げられた。それを受けて、本研究では個の学びのために、一人一人の思考が活性化する授業作りを進めていくことにした。</p> <p>②生徒の実態より 本校の生徒は明るくとてもエネルギーで、部活動や行事などでは仲間と協力し、より質の高いものを作り上げようと努力している。しかし、学習面では与えられたことに対しては真面目に取り組むものの、自ら意欲的に課題を見つけ取り組む姿はあまり見られない。さらに基礎的・基本的な知識の習得に課題がある生徒も一部に見受けられる。学力における個人差が大きく、一斉授業の中では、成就感や自信を持たせることが難しいこともある。よって個に焦点を当てた授業作りが必要である。</p> <p>③本校の学校教育目標の具現化より ○教育目標 「気づき、考え、進んで実行する生徒の育成」 ○生徒につけたい力 ・かかわる力 ・まなぶ力 ・やりぬく力</p> 以上をふまえ、本研究主題を設定する。		
研究の目標	一時間や一単元の中で、生徒一人一人が思考を活性化させ、思考を深めたり広げたりする経験を通して学びを得られる授業作りをすることを目標とする。そのために、指導者は教科の本質となる「学び」を見据え、そこに至るための個の学びの道筋を明確にイメージした指導方法を工夫する。		
研究の仮説	「個の思考」を「活性化」させる授業では、生徒一人一人が自分の学びを実感できるであろう。そのための具体的なアプローチとして、課題や協働を一時間、一単元の中で工夫する。生徒個人が主体的に学ぶ場を教師が授業の中で保証し、その場面で、思考が深まったり広がったりすることで生徒は自分の変化を実感する。生徒それぞれの道筋を辿らせることで、一人一人が教科の目指す学びを得られる授業になるであろう。		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究の内容</p>	<p>各教科の指導において、次の《アプローチ》から個の思考を活性化させ、それを通して、生徒一人一人が教科の目指す学びを獲得する授業作りを目指す。</p> <p>《アプローチ①「課題」》  例・課題提示の仕方を工夫する  ・課題の設定を工夫する  ・課題解決の仕組み方を工夫する</p> <p>→「個の思考の活性化」→「学び」</p> <p>《アプローチ②「協働」》  例・交流することで個の役割を持たせる  ・他の人の反応を見て参考にし、自分の考えを深める  ・いろいろな考えに触れ、自分の考えを広げる</p> <p>→「個の思考の活性化」→「学び」</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究の方法</p>	<p>(1) 年間一人一授業を計画的に実施し、研究実践を通して研究主題に迫る。研究授業の際には、教科部会を設定して事前研究会を行う。また、大研小研二種類の研究授業を実施し、同教科、もしくは他教科の授業を参観し、当日に事後研究会を行う。</p> <p>(2) 原則としてアプローチ①または②を取り入れた研究授業を行う。個々の教員が教科の特質を踏まえ工夫したアプローチを仕組み、研究を進める。</p> <p>(3) 課題提示に関しては、ユニバーサルデザインの視点から、生徒の授業における目標や課題を黒板に明示するという共通実践を毎時間行う。</p> <p>(4) 二つのアプローチと学びの道筋の関わりがイメージできるような指導案によって、全教員共通の視点で授業研究ができるようにする。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究の計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の校内研究計画（4月職員会議）</li> <li>・教科の研究内容＜研究テーマと研究計画＞の集約（5月下旬）</li> <li>・<b>第1回授業研究会＜大研＞（7月8日（金））</b></li> <li>・第1回授業研究会の成果と課題の集約（7月職員会議）</li> <li>・校内全体研修会（7月予定）</li> <li>・小研① 9月13日（火）</li> <li>・<b>第2回授業研究会＜大研＞（11月17日（木））</b></li> <li>・小研②③ 10月19日（水）</li> <li>・研究紀要の内容確認（12月職員会議）</li> <li>・今年度の成果のまとめ（1月）研究紀要作成（2月）</li> <li>・次年度の研究の方向付け（2月職員会議）</li> </ul>